

Feature Articles

有料多チャンネル放送の
2023年を総括

- 20 2023年の加入状況
22 多チャンネル加入純増ケーブルテレビ局に聞く

Satellite & Cable Industry
2023 Milestones世界最大のテクノロジー見本市
「CES2024」レポート

- 12 座談会:日本デジタル配信
14 IoT/スマートホームの最先端を見る
取材・文/新貝文将 X-HEMISTRY (株) CEO

能登半島地震

- 16 ケーブルテレビの奮闘と厚い支援 取材協力/日本ケーブルテレビ連盟
18 地震発生からの4日間 震災レポート 文/梅木 健

Special Interview

- 8 降旗邦義氏 ワールド・ハイビジョン・チャンネル(株) 代表取締役社長

Cable-TV Interview

- 10 (株)中海テレビ放送

Series Articles and Columnns

- 28 ミュージックツーリズムの可能性 ② 文/八木良太
30 放送ビジネスの政治経済学 ⑧3 文/音 好宏
32 新・地域メディア最前線 ⑩ 取材・文/兼古勝史
36 世界のメディア曼陀羅華「『ケーブル年鑑2024』を読む⑤」 ②58 文/猪股英紀
40 地産飛翔〜ケーブルビジネス関連動向(気になるトピック / 機器チェック!)
44 市民メディアの現場から ⑥ 取材・文/鈴木賀津彦
45 自他傍和困我也(じたばたわいがや) ⑮ 文/穂積 融
46 アジア衛星TV最新情報 ②62 文/長瀬博之
48 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧
54 Official Information
スカパーJSAT / 日本ケーブルラボ / CRI
56 ワハハ本舗 喰始のエンターテインメントのツボとボツ ⑰6 文/喰 始
57 Information 新作映画紹介 & Convention
58 NEWS FILE 2024/2/1〜3/1

DATA

- 34 CS-CHANNEL RANKING

- 63 定期購読のおすすめ
64 購読オーダーシート
65 バックナンバー

※福田 淳氏の「考えるメディア」は、今号もお休みさせていただきます。

〈読者の皆さまへ〉

「DATAページ」(各プラットフォーム別加入状況および業界動向データ、CS/BSペイテレビ接触率ランキングなど)の掲載を今号も見送ることとなりました。上記各種データは、誌面には掲載していませんが、2024年3月10日に弊社HP (<https://www.satemaga.co.jp/>)にPDFにてアップしております。お手数ですが、こちらから閲覧くださいますようお願い申し上げます。

2024年3月10日

サテマガ・ビー・アイ(株) 月刊「B-maga」発行人 一瀬悦子／編集長 池和田一里



有料放送&VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊

メディア融合時代到来!
【コンテンツ至上主義】視聴者が「選ぶ」メディアは?

多チャンネル放送研究所 + 音 好宏(上智大学教授&多チャンネル放送研究所所長)編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音 好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて



CLOSE SHOT

「ケーブルテレビテクノフェア
in Kansai 2024」2月16日開催、
約900名が来場

「ケーブルテレビテクノフェア in Kansai」が2月16日(金)、大阪OMMビル(天満橋駅直結)で開催された。人口減少や少子高齢化、若者のテレビ離れなどケーブルテレビ業界の取り巻く環境が大きく変化する中、日本ケーブルテレビ連盟 近畿支部(櫻井俊一支部長/(株)ジェイコムウエスト社長)技術部会は、展示ブースやセミナーなどを通じて、最新の高度なケーブルテレビ技術に関する情報の共有、業界全体の知識と理解を向上させることを目的に「安心を届ける、地域をつなぐ、ケーブルテレビ」をテーマに開催。展示会場には40社が出展、2つのホールを使って13のセミナーが行われ、近畿エリアのケーブルテレビ事業者やシステムベンダー等、全国から約900名の関係者が来場した。ここでは、展示の一部を写真で紹介する。



サイバー・ネット・コミュニケーションズ(株)
サイレントカスタマーの解約防止、顧客満足度アップに貢献するAIチャットボット、AIボイスボットをはじめ、AI音声認識ツール、コールセンターサービスを紹介



(株)ニューメディア
各局の地域コンテンツ配信プラットフォーム「ロコテレ」、ハイブリッドキャストデジタルサイネージ「mirune」、ハイブリッドキャストコンテンツ配信「CP2」を紹介



日本デジタル配信(株)
ACASローカル自主スクランブル機能、IP-VOD「みるプラス」(コミチャンVOD)、「satonoka」プロジェクトを紹介



ミハル通信(株)
展示デモは「RFとIPに対応した強靱なヘッドエンドシステム」。地デジコミチャン、高度BS/BSのIP伝送システム関連製品や光関連製品等を展示